

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金（地方創生先行型）の検証結果一覧表

No.	交付金の種類	事業名	事業概要	事業内容	事業費(千円)	重要業績評価指標 (KPI)			KPIの達成状況	事業効果	外部有識者からの評価	
						指標	指標値	実績値			事業の評価	外部有識者からの意見
1	基礎交付	直島町総合戦略策定事業	環境の島、アートの島として全国的に知名度も上がり、交流人口の増加と移住・定住対策による町の活性化を目指す「直島町総合戦略」を策定するために、必要な専門的な調査等を実施する。	○策定委員会委員報酬 ○直島町「人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」策定支援 ・人口の現状分析、将来人口の推計 ・町民対象のアンケート調査 ・総合戦略策定支援、策定委員会の運営支援	7,905	-	-	-	-	-	・個別施策について、KPIの設定内容や目標値については、現状のままとするが一部施策については見直しが必要。 ・KPIを達成するために施策について見直しが必要。	
2	基礎交付	社宅整備費用助成	基幹企業の従業員の多くは、町内の住宅不足により町外から通勤をしている。住宅不足解消を行うために社宅整備を行う事業者に対して助成を行い、定住人口の増加をめざす。	町内に社宅を建設する事業者に対して、1世帯あたり20万円の建設費を助成する。	13,600	町外からの雇用者の転入数	10	31	達成	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	・新築だけでなく、空き家改修の場合も対象としてはどうか。 ・家族用の助成額を増やしたらどうか。（家族の方が人口増になる。）
3	タイプⅠ	「海の復権瀬戸内国際芸術祭2016」の開催による交流人口増大と地域のきずなづくり推進事業	瀬戸内国際芸術祭実行委員会の構成団体の一員として、開催に向けた準備を行う。 芸術祭の中心となる島として観光客が増加見込みであるため、町内関係団体からなる直島町実行委員会を設置し、受け入れ体制の強化、案内業務の充実を図り、鑑賞者の安全と満足度の向上を図る。 さらに、定期航路で繋がっている島への人の流れができることから、交流人口の拡大に向け、新規航路についての提案等、検討を行う。	○瀬戸内国際芸術祭実行委員会の構成団体町負担金 ○瀬戸内国際芸術祭直島町実行委員会への助成金 ○観光客の受入体制を充実させるための案内業務看板購入、看板設置工事費 ○直島のPRを行うための、町営バスの車体ラッピング経費 ○ガイドマップ作成経費助成 ○鑑賞者が安全に鑑賞できるよう、芸術作品展示スペースの改修費	21,930	観光入込客数（3月1日～3月31日）	60,000	61,312	達成	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	アート+αの魅力をもっとPRするためのしくみを整備するために観光客のニーズを把握する必要がある。
4	タイプⅡ	移住体験住宅整備事業	移住体験をすることにより、直島町の魅力、住環境、就職情報等実際に体験してもらい、移住促進を図る。	移住体験住宅として提供可能な空き家所有者を公募で募り、整備費用について補助を行う。 移住体験に必要な生活備品等の補助を行う。	787	移住体験利用者	2	0	未達成	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	整備補助、利用の周知をもっと行う必要がある。移住体験後受け入れ体制の整備も必要。
5	タイプⅡ	子育て世代交流施設整備事業	公共施設の空き部屋を活用し、子育て世代の親子が気軽に安心して集え、交流できる場所の提供を行う。また、新たな雇用が生まれる。	社会福祉協議会に事業委託し、交流施設の運営及び危険箇所の改修、遊具等の整備を行う。	1,338	施設利用者数	30	116	達成	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	良い事業だと思う。
6	タイプⅡ	ホームページ更新事業	住民や観光客、移住者等に必要とする情報を容易に取得できるようにする。 外国人観光客も増加しているため、日本語のみではなく、英語等で情報を発信し、交流人口の増加につなげる。	○町のホームページ構築費用 ・外国人観光客に対応した多言語による情報発信の整備 ・スマートフォン等モバイル端末に対応したホームページサイトの構築 ・情報を整理し、見やすく分かりやすいページの構築	7,193	ホームページの整備 ホームページアクセス数	整備 50,000 目標年月 H29.3	整備 4,695 H28.4 アクセス数	未達成	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	ベネッセ、観光協会、直島町のHPIに求められていることのすみわけや情報の統一はどうするのか。